

# 書琳大金荒

SHO.50



# 荒金大琳の書

SHO・50

会期 一九九七年十二月九日(火)～十四日(日)  
会場 大分県立芸術会館第一展示室  
主催 臨書創作教育研究協議会  
後援 (社)創玄書道会・九州創玄書道会・西部書作家協会

大分県芸術文化振興会議・大分県美術協会・大分県書美術振興会  
大分合同新聞社・OBS大分放送・TOSテレビ大分  
OAB大分朝日放送・エフエム大分

# 目次

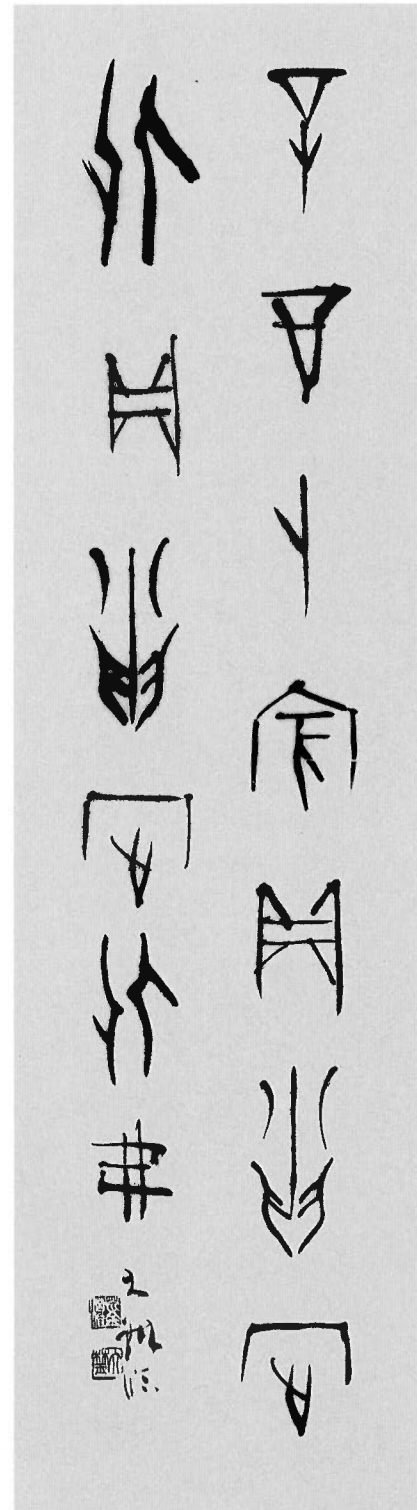
臨書の部	1
創作の部	95
創作	
小論	
写真	
ごあいさつ	
荒金大琳の書作展に際して	
工藤勝武先生	205
五十歳を迎えた大琳について思いつくまま	
― 詩人として・妻として ―	
文月菜々子	206
これからも臨書と創作をくりかえす人生!	
荒金大琳	208

臨書  
の  
部



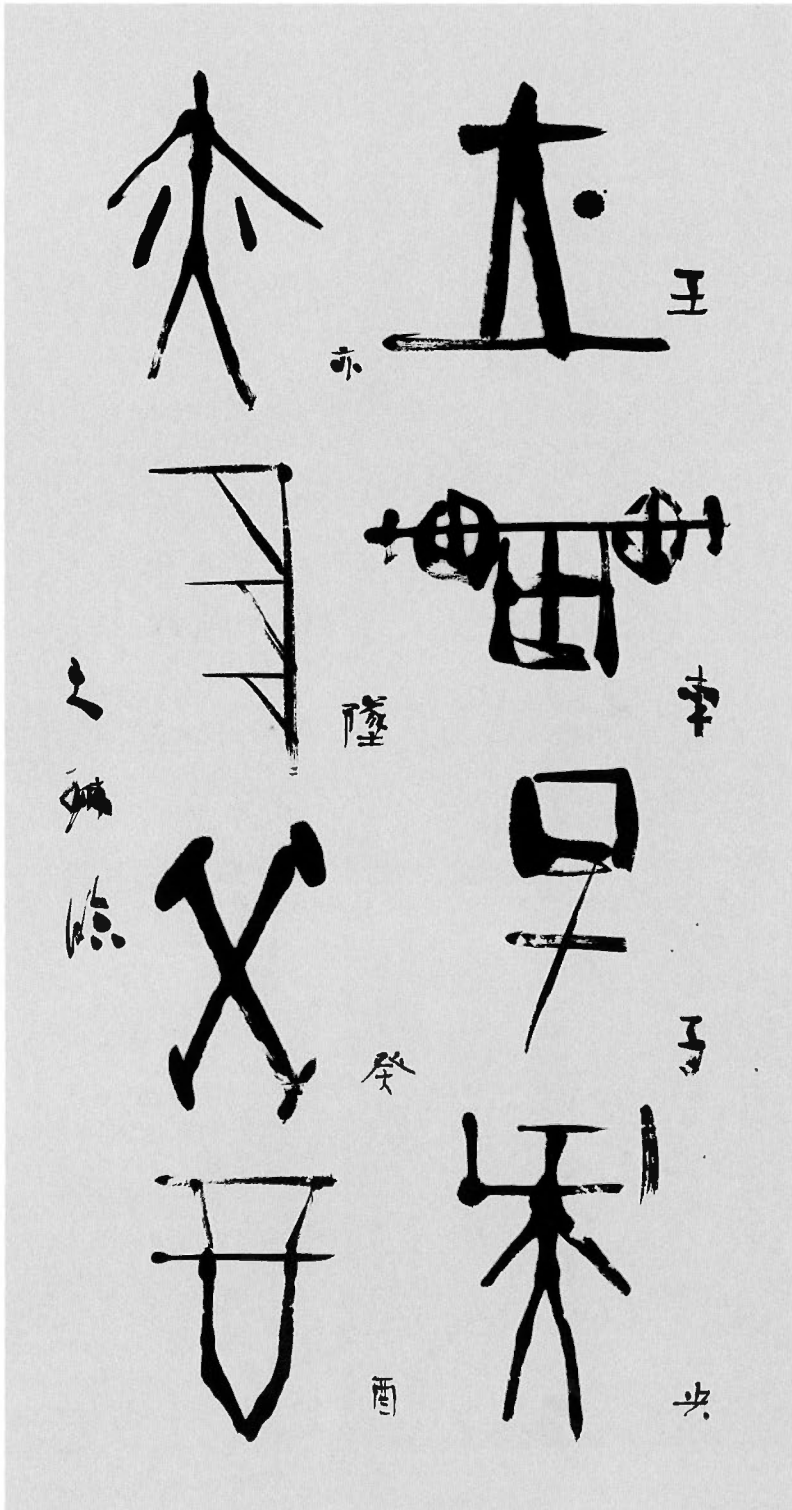
BC  
1300年  
前後より

甲骨文字・不酉卜賓貞甬正化貞甬定化弗

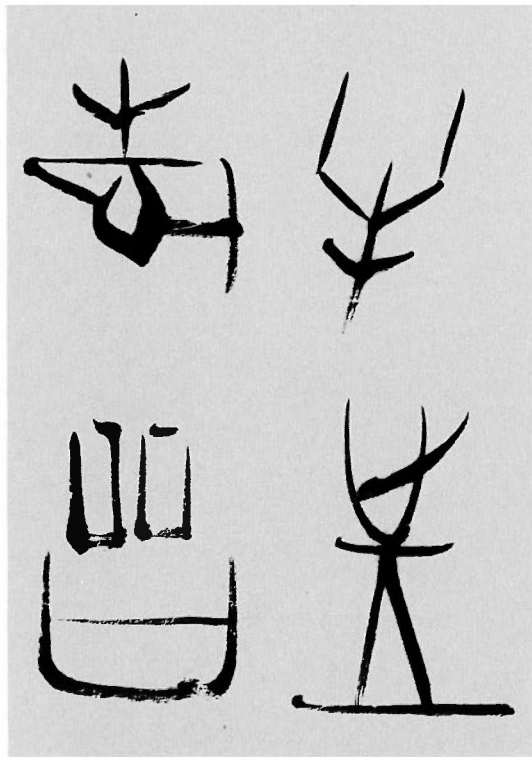


(137×35)

甲骨文字・王車子央亦墜癸酉

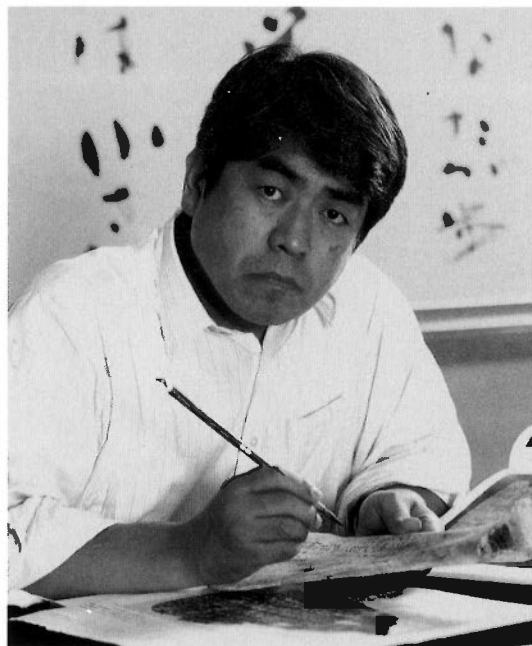


(137×70)

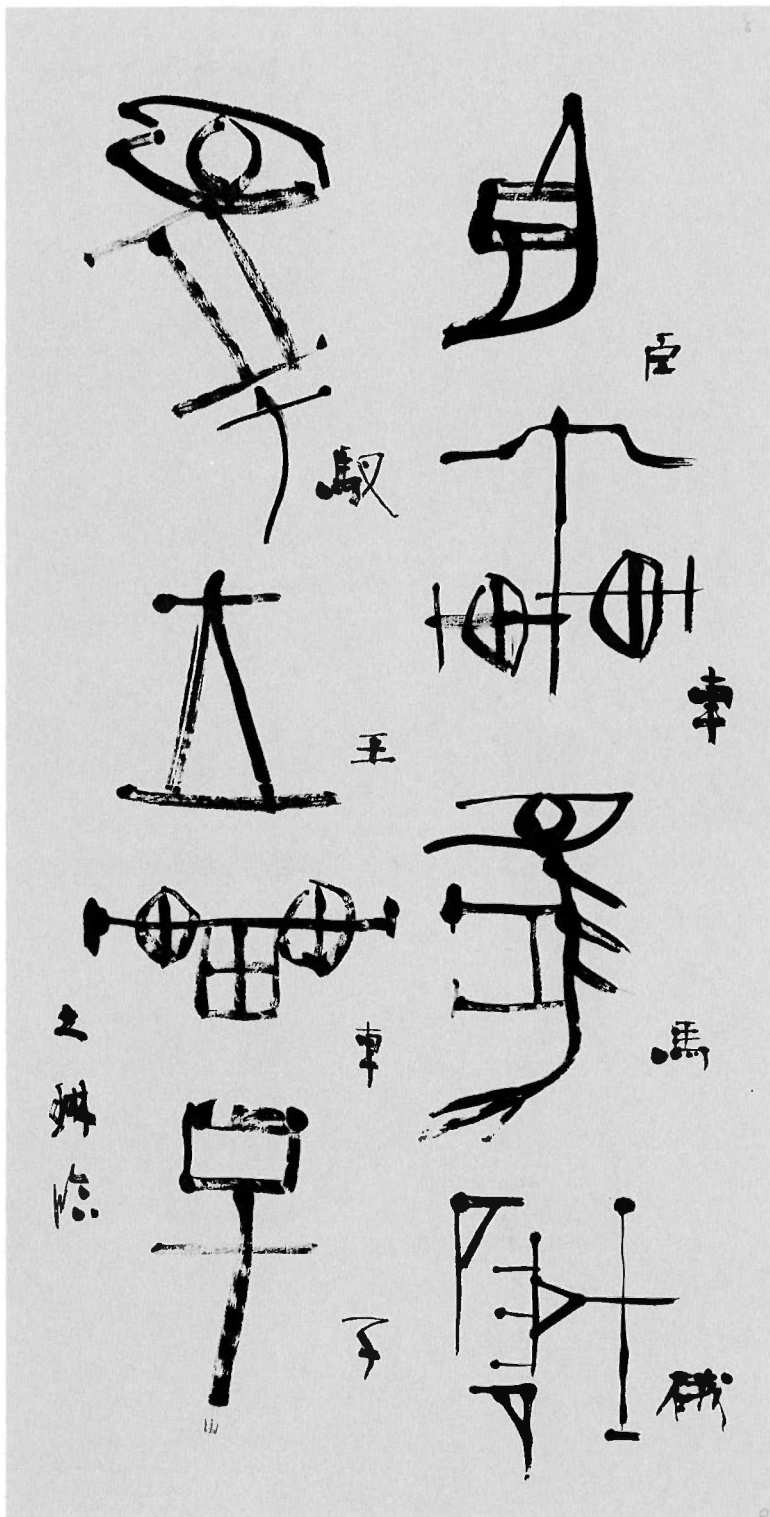


甲骨文字・牛往省四

(47×35)



甲骨に揮毫する (H9)

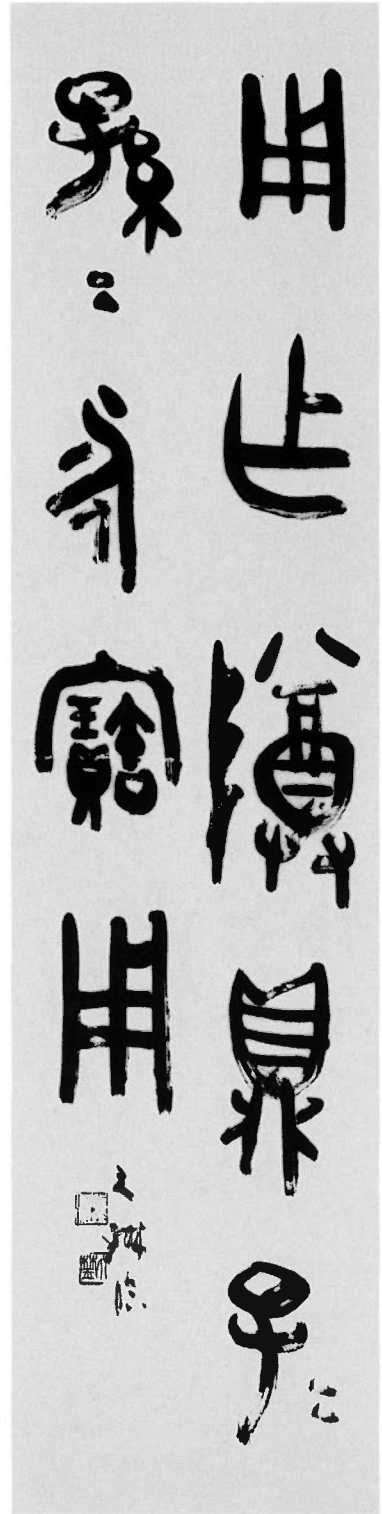


甲骨文字・臣車馬礮馭王車子

(137×70)

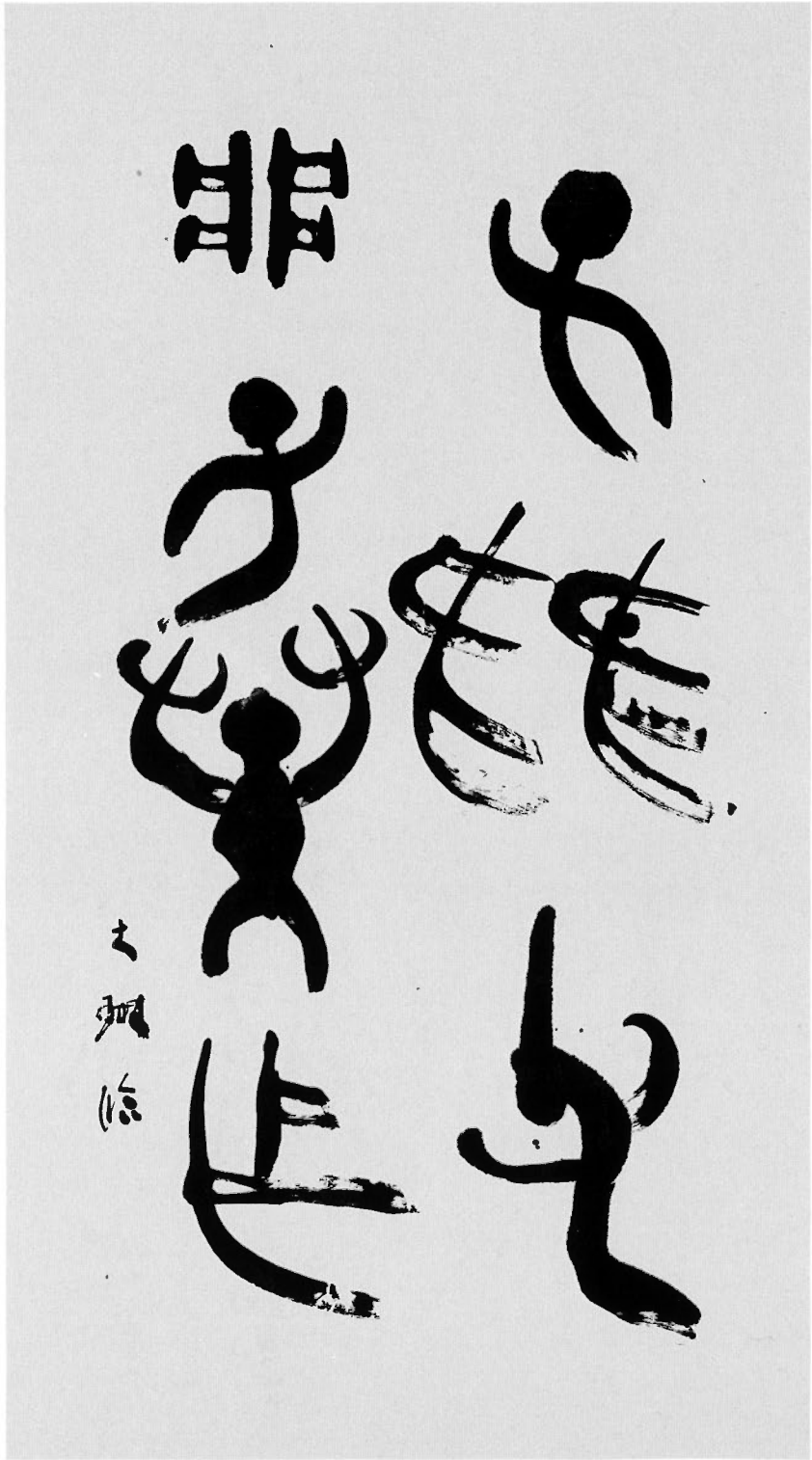
BC  
1100年  
前後より

金文・用乍  
罍鼎子子孫永實用



(137×35)

金文・子  
毳父卣子  
毳父作



(137×70)



(137×70)

石鼓文·吾車既工。吾馬既同。



(137×35)

BC 250年前  
石鼓文·吾車既工。吾馬既同。吾車既好



BC 500年前後  
竹簡・吳王問孫子曰六將軍分守晉國之地孰先

吳王問孫子曰六將軍  
分守晉國之地孰先

竹簡・過二千二百錢以上。貨一甲。人戶馬牛一。

過二千二百錢以上  
貨一甲。人戶馬牛一。

BC 219年  
泰山刻石・臣請。具刻詔書。金石刻因明

臣請具刻詔書  
金石刻因明

(137×35)

(137×35)

(137×35)